

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	車両保存施設新設他工事	階数	地上1F/地下1F
建設地	大阪府吹田市片山町	構造	S造
用途地域	1種中高層、法22条地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2023年1月13日
敷地面積	5,397 m <sup>2</sup>	作成者	東畑建築事務所 田中
建築面積	2,159 m <sup>2</sup>	確認日	2023年1月13日
延床面積	3,916 m <sup>2</sup>	確認者	JR西日本コンサルタンツ延安



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.1
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4

機能性	3.5
耐用性	3.1
対応性	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.6

生物環境	4.0
まちなみ	3.0
地域性・	4.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	4.0
設備システ	2.9
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

水資源	3.0
非再生材料の	3.8
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.5
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>利用者に配慮し、F☆☆☆を利用している。主要給排水管は耐用年数が高い材料を使用している。</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>開口部遮音性能: T-2以上。JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>給水PBP(C)、排水VP(B)、給湯PBP(C)。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>十分な空地・緑地を確保したゆりのある建物配置により、周囲と調和した外部空間としています。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>個別空調、LED照明他省エネルギーに関する設備計画としています。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>再利用可能な材料を積極的に使用しています。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>建物配置は敷地境界線からの離隔距離を十分に保ち、低層にして近隣への影響を極力小さなものとするようになっています。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0141

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	車両保存施設新設他工事						
	建設地	大阪府吹田市片山町						
	用途/区分	事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						4	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
<b>エネルギー消費量の報告</b>								
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				4.0	4	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				4.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.9	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
	先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項					
	特に配慮した事項	建物配置は敷地境界線からの離隔距離を十分に保ち、低層にして近隣への影響を極力小さなものとなるようにしています						